

中央大学杉並高等学校数学科 一般入試の出題方針

～受験生の皆さんへ 数学科からのメッセージ～

◆教育基本方針

① 基礎学力の養成

高校数学で登場する新しい概念の基本を理解し、そこで得た知識を自分の言葉として扱うことができるように指導しています。

② 論理的思考力の強化

数学の問題を題材としながら、「仮定と結論は何か」、「問題から読み取れる条件は何か」、「矛盾なく解を導くために考えなければならないことは何か」といった「論理的思考力」を身につけるための訓練をしています。

◆一般入試について

①問題の水準

関東の公立高校入試のレベルを解ける力を確認する問題です。

②出題範囲

中学校学習指導要領に準拠することを心掛けています。

[ワンポイントアドバイス]

① 答えのみを解答する問題

「答えのみの解答」だからといって、すぐに答えが出せない問題が大半です。解決には様々なアプローチが考えられますが、いくつかの方法で同じ答えが出せれば、それは正解と考えることができます。1つの問題に対して、複数の解法を身につけておくことが、合格への近道だと言えるでしょう。「学問に王道なし」です。

② 記述式の問題

たとえ答えが正しかったとしても、そこに辿り着くまでの過程が書かれていなければ、当然「0点」です。また、「数式だけ」の解答も見かけますが、適度な日本語も入れると非常に読みやすい答案になります。「誰が読んでも理解できる答案」を目指してください。

◆最後に

高校数学は、中学数学を土台にして、そこから発展する科目です。

そのため、入試までに中学数学を十分に理解しておくことを望みます。